

「奄美高校郷土芸能部伝承活動の取組」

1 学校名

鹿児島県立奄美高等学校

2 学年・人数

1年4名，3年5名 計9名

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

部活動練習時間（放課後，休日）

特別教室棟5階（生活デザイン室・作法和室）

(2) 発表の日時・場所

平成28年9月11日（日） 体育祭

平成28年10月21日（金） 文化祭

平成28年9月22日（木） 敬老会への出演 その他6件

4 伝承・活動に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事や史跡について

(1) 名称

奄高八月踊り（あまこうはちがつおどり）

(2) 由来

旧暦の八月を中心に踊られる。旧暦八月の三八月（みはちがつ）と言われる行事のアラセツ・シバサシ・ドンガと八月十五夜（豊年祭），送り盆の日に盆の踊りとして踊られていた。年中行事の変化により，現在八月踊りが踊られる日は集落によりさまざまである。

(3) 構成等

輪になり，男女が掛け合いながら唄を歌い，それにあわせて踊りを踊る。数人の人が，「チヂン」と言われる奄美独特の締め太鼓を手にもち叩く。八月踊りは，集落独自に伝承されている。

5 保存会や地域との連携の具体

郷土芸能部の活動の中で，お祭りやイベントなどの地域行事への参加や福祉施設での敬老会への出演も行っている。奄美独特の伝統芸能を継承していかなくてはならないという思いを持ちながら，日々活動している。各地域に八月踊りが存在し，歌詞やリズムも集落ごとに違うため，各地域から取り入れた奄美高校体育祭での伝統プログラムである“奄高八月踊り”へも力を入れて取り組んでいる。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

本校郷土芸能部の発足は、バレエ部を引退した女子生徒を中心に「六調太鼓同好会」の名称で平成9年から結成した。その後、部へ昇格し「郷土芸能部」として活動を続け現在に至っている。

現在、部員9名と少ないため体育祭では、企画・運営に必要な人数確保のため毎年男子生徒の指笛隊と踊り隊の有志を募っている。

体育祭では、女子生徒が全員で取り組むため、女子のみ7月から体育の授業で練習し、また放課後にも唄や踊りの練習に取り組んでいる。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



体育祭での発表



文化祭での様子



舞台演奏の様子



若返り古田会での交流

8 参加生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【郷土芸能部】

・体育祭では、各クラスへの事前指導が最初はうまくいかず、悩んだ時期もありましたが、本番では参加生徒全員で八月踊りをして、練習の成果が出たので嬉しかった。

・文化祭での演奏では、八月踊りの“さんだまけ”を踊ったとき、みんなから手拍子が出てきたときはとても嬉しくて、踊りやすかった。

・お祭りやイベントなどの地域行事への参加や福祉施設での敬老会への出演を通して、奄美の伝統芸能である島唄や八月踊り、六調演奏を通して受け継ぐことの重要性やまた、継承していくことへの難しさを感じた。また、笑顔で人前にたち演奏することの難しさや、歌詞の意味を理解することの大切さを学ぶことができた。

- ・若返り古田会の交流では予定よりも曲数が増えたが、盛り上り、高齢者の方々と交流が深まり、よかったです。
- ・若返り古田会の交流を通して、地域の方々と一緒に八月踊りをすることがあまりなく、一緒に踊りながら交流ができ、また機会があれば参加したいです。

【教職員】

年間通して、学校行事をはじめ、地域行事等へ参加をしながらさまざまな舞台を経験させていただいています。その回数を踏むことで島唄や三味線の技術が向上している部員がいます。奄美の歴史や文化の継承を視野にいれながら、この奄美のすばらしい歴史を継承していきたいと考えています。